

アメリカいいなり、
大企業いいなり

市田書記局長迎え、演説会に1300名

2つの病ただせる日本共産党を大きく

甲良町6月議会6月8日開会

5月28日、甲良町議会運営委員会が開催され、会期、審議日程、議案の取り扱いなどを協議。西澤議員は「従来の慣例の枠にとらわれずに論議が必要。重要な補正予算、新しい条例制定などがあり、実質2日間では足りない」と意見。ある議員は「甲良町議会は1日でも慎重な充実した審議を行ってきた」と発言。意見が一致せず、西澤議員は、8日全協のあと再協議を提案。しかし「委員長一任」が多数を占め、「状況を見て議長判断で会期延長もありうる」との見解を含み10日までの3日間で通知することに。16年度一般会計補正予算は委員会付託となりました。補正予算議案が委員会付託となった例は甲良町議会の過去にはないとのこと。

一般質問は10日、田中氏、中田氏、大町氏、西澤氏、藤堂氏、川副氏の順。

どうぞ傍聴においでください

ご意見ご要望などお寄せください。

林としろうさんが 決意表明

5月25日夜、日本共産党滋賀県委員会は、市田忠義書記局長・参議院議員を迎え、ひこね市文化プラザで演説会を開催。市田氏の出身校・八日市高校の関係者、自治体首長や党外の議員、党の演説会は初めての人など、湖北地域で過去最高の約千三百人が会場を埋めました。甲良町からも多数の方が参加していただきました。

市田氏は日本にはアメリカいいなり、大企業いいなりの二つの病があるとして、年金、

▲「しんぶん赤旗」5月26日付より転載

林としろう氏は「年金改悪をやめさせ、消費税の引き上げ反対、平和憲法を守るためどこまでもがんばります。」と決意を表明しました。

ある自治体の首長は「北朝鮮に対する日本共産党の立場がよくわかった」など語っていました。初めて参加したある自治体関係者は「迫力に圧倒されました」と話しました。「市田さんの話はわかりやすかった。党の出番です」などの感想が多数寄せられました。

党滋賀県委員会は28日、「この演説会で33万7千28円の募金が寄せられました。ご協力ありがとうございました。ひき続き参議院選前進へご支援をお願いします。」などの訴えを発表しました。

甲 良 民 報

NO246 2004年5月30日

発行：日本共産党甲良町支部

支部長 西澤伸明 在士 463

Tel・Fax：38-4949

日本共産党のホームページ

<http://www.jcp.or.jp>

【月3回発行：月初めが月末原則休刊】